



## 2024年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年11月14日

上場会社名 株式会社W TOKYO 上場取引所 東  
コード番号 9159 URL <https://www.w-tokyo.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 村上 範義  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼経営戦略統括局長 (氏名) 藤本 冬海 TEL 03-6419-7165  
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年6月期第1四半期の業績(2023年7月1日～2023年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第1四半期	1,135	-	289	-	286	-	184	-
2023年6月期第1四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第1四半期	71.45	65.11
2023年6月期第1四半期	-	-

(参考) 調整後営業利益 2024年6月期第1四半期 330百万円

調整後四半期純利益 2024年6月期第1四半期 218百万円

当社は、経営上の目標の達成状況を判断するための客観的な指標として、調整後営業利益、調整後四半期純利益を採用しております。なお、各指標については、後述の「※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項(サマリー情報の参考についてのご注意)」をご覧ください。

(注) 2023年6月期第1四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、2023年6月期第1四半期の数値、2024年6月期第1四半期の対前年同四半期増減率、2023年6月期第1四半期の調整後営業利益及び調整後四半期純利益を記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第1四半期	3,663	1,458	39.8
2023年6月期	3,122	1,270	40.7

(参考) 自己資本 2024年6月期第1四半期 1,458百万円 2023年6月期 1,270百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	-	-	-	0.00	0.00
2024年6月期	-	-	-	-	-
2024年6月期(予想)	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年6月期の業績予想（2023年7月1日～2024年6月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,901	7.9	670	4.0	662	6.8	436	7.5	168.85

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P.6「2. 四半期財務諸表及び主な注記（3）四半期財務諸表に関する注記事項（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年6月期1Q	2,596,900株	2023年6月期	2,588,000株
② 期末自己株式数	2024年6月期1Q	43株	2023年6月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年6月期1Q	2,589,234株	2023年6月期1Q	—株

（注）当社は、2023年6月期第1四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2023年6月期第1四半期の期中平均株式数を記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しています。

（サマリー情報の参考についてのご注意）

当社は、経営上の目標の達成状況を判断するための客観的な指標として、調整後営業利益、調整後四半期純利益を採用しております。これらの指標は、当社のTOKYO GIRLS COLLECTIONというブランド価値を活用した社会への価値提供の程度、また当社における経営の効率性を測るためものとして適切であると考えております。

（調整後利益の計算方法）

調整後営業利益＝営業利益＋のれん償却額＋商標権償却額

調整後四半期純利益＝税引前四半期純利益＋のれん償却額＋商標権償却額－想定税金費用（※1）

※1 想定税金費用＝法人税等＋商標権償却額×実効税率（課税所得が発生する場合）

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第1四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

なお、当社は、前第1四半期累計期間については四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期累計期間との比較分析は行っておりません。

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、経済社会活動の正常化が進行し、インバウンド需要を含む個人消費の動向が回復基調にあります。一方で、為替変動、エネルギーや原材料の価格高騰に起因する物価上昇、賃金上昇による人件費の上昇や少子高齢化の進行による労働力不足等により、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

このような環境のもと、当社では、2023年9月に「TOKYO GIRLS COLLECTION」（以下、「TGC」という）を開催し、高ランクの協賛企業及び出展アパレルブランドの増加や来場者チケットの完売等により収益性の向上に貢献いたしました。また、東京都江戸川区より受託しているシティブランディングの一環で、2023年8月に行われた江戸川区花火大会において、SDGs普及啓発を目的とするオンライン配信「SDGs EDOGAWA ONLINE HANABI FESTIVAL supported by TGC」の企画・演出や、来場者へのごみ袋配布の企画を行いました。加えて、TGC以外でも、SNS活用によるプロモーション・イベント制作を行う等、TGCで培った発信力を活かしたプロデュース事業も順調に推移しました。この結果、TGCプロデュース領域の売上高は844百万円となりました。

その他、アーティスト・タレントのキャスティングとクリエイティブ制作を組み合わせた顧客の商材のブランディングによる売上の契約件数が増加いたしました。また、イオンフィナンシャルサービス株式会社との事業提携による「TGC CARD」の利用者の決済額等に基づくロイヤリティの受領、株式会社大創産業とのコラボレーション商品の開発に基づくロイヤリティの受領等により、TGCのブランド力やネットワークを活かして新たな価値を創造することにより収益基盤が多層化しております。この結果、コンテンツプロデュース・ブランディング領域の売上高は273百万円となりました。

なお、サービス領域別の状況は次のとおりであります。

サービス領域別売上高

サービス領域	2024年6月期 第1四半期累計期間		2023年6月期 (前事業年度)	
	金額	構成比	金額	構成比
TGCプロデュース領域	844百万円	74.3%	2,650百万円	73.3%
コンテンツプロデュース・ブランディング領域	273	24.1	869	24.0
デジタル広告領域	18	1.6	96	2.7
合計	1,135	100.0	3,616	100.0

以上の結果、当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高1,135百万円、営業利益289百万円、経常利益286百万円、四半期純利益184百万円となりました。

当社では、TGCの売上規模が全体の売上に占める割合が大きく、開催の月の属する四半期（第1四半期、第3四半期）に売上高及び売上総利益が偏重する傾向があります。一方で、販売費及び一般管理費は固定的に発生するため、営業利益も第1四半期及び第3四半期において比較的高くなる傾向があります。

また、当社は、経営上の目標の達成状況を判断するための客観的な指標として、調整後営業利益、調整後四半期純利益を採用しております。これらの指標は、当社のTGCというブランド価値を活用した社会への価値提供の程度、また当社における経営の効率性を測るためものとして適切であると考えております。

(調整後利益の計算方法)

調整後営業利益＝営業利益＋のれん償却額＋商標権償却額

調整後四半期純利益＝税引前四半期純利益＋のれん償却額＋商標権償却額－想定税金費用（※1）

※1 想定税金費用＝法人税等＋商標権償却額×実効税率（課税所得が発生する場合）

当第1四半期累計期間の調整後営業利益は330百万円、調整後四半期純利益は218百万円となりました。なお、調整後営業利益、調整後四半期純利益については、PwC京都監査法人の四半期レビューを受けておりません。

当社は、ブランディングプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載はしていません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比較して541百万円増加し、3,663百万円となりました。これは主に、2023年9月開催の「TOKYO GIRLS COLLECTION」の収入等による売掛金及び契約資産835百万円の増加及び、2023年6月期の法人税等の納付等による現金及び預金284百万円の減少、商標権22百万円、のれん18百万円の償却による減少によるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末と比較して352百万円増加し、2,204百万円となりました。これは主に、2023年9月開催の「TOKYO GIRLS COLLECTION」の外注費等による買掛金548百万円の増加及び、2023年6月期の法人税等の納付による減少189百万円及び当第1四半期の税金費用の計上による増加107百万円による未払法人税等81百万円の減少、履行義務の充足に伴う前受金21百万円の取り崩しによる減少、賞与支給等による賞与引当金24百万円の減少、長期借入金（1年内返済予定を含む）32百万円の約定返済による減少によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末と比較して188百万円増加し、1,458百万円となりました。これは主に、四半期純利益184百万円の計上による利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2023年8月14日の「2023年6月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,971,202	1,686,896
売掛金及び契約資産	195,806	1,031,025
前渡金	105,366	120,395
その他	26,615	47,412
貸倒引当金	△2,961	△2,961
流動資産合計	2,296,030	2,882,768
固定資産		
有形固定資産	24,132	22,954
無形固定資産		
のれん	230,374	212,186
商標権	452,914	430,194
ソフトウェア	33,336	30,816
無形固定資産合計	716,624	673,197
投資その他の資産	85,784	85,035
固定資産合計	826,542	781,187
資産合計	3,122,572	3,663,955
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	71,298	620,135
1年内返済予定の長期借入金	146,521	158,615
リース債務	12,029	12,029
未払法人税等	189,441	107,599
前受金	269,093	247,719
賞与引当金	34,443	9,709
その他	136,897	104,038
流動負債合計	859,724	1,259,846
固定負債		
長期借入金	987,303	943,114
リース債務	5,012	2,004
固定負債合計	992,315	945,118
負債合計	1,852,040	2,204,965
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	211,525	213,323
資本剰余金	523,710	525,508
利益剰余金	535,297	720,295
自己株式	—	△136
株主資本合計	1,270,532	1,458,990
純資産合計	1,270,532	1,458,990
負債純資産合計	3,122,572	3,663,955

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
売上高	1,135,845
売上原価	601,261
売上総利益	534,583
販売費及び一般管理費	245,005
営業利益	289,577
営業外収益	
受取利息	8
受取手数料	28
その他	0
営業外収益合計	36
営業外費用	
支払利息	2,345
支払保証料	776
その他	35
営業外費用合計	3,156
経常利益	286,457
税引前四半期純利益	286,457
法人税等	101,460
四半期純利益	184,997

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)

当社は、ブランディングプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載はしていません。